

(様式2) 事業計画概要書

起業者の概要	氏名、現在職	(よみがな) ▲▲ ▲▲ (氏名) ●● ●●	(現在職) ●●●		
	住所	〒000-0000 秋田県●●●市●●● 2-2-2			
	TEL、FAX、Mail	TEL ( 000-000-0000 ) FAX ( ) e-Mail( ●●●@gmail.com )			
事業内容	予定業種	(日本標準産業分類による業種: 0000 ●●●業 )			
	商号等	株式会社●●●			
	起業形態	個人 ・ 組合 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 法人	(組合・法人の場合その名称及び資本金) 株式会社●●● 資本金300万円		
	起業予定場所	〒000-0000 秋田県●●●市●●● 2-3-4			
	起業予定日等	起業予定日 令和3年 4月 1日 (法人の場合-登記日) 実際の操業開始日 令和3年10月 1日 補助事業終了日 令和4年 2月 28日			
	提供する商品、サービス等の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●●●スタイルの●●●の製造及び小売・卸売</li> <li>製造所隣接の●●●で●●●の販売</li> </ul>			
	採用計画 (人)	第1期中 (うち起業時) 1人 ( 1人 )	第2期 1人	第3期 1人	備考
売上、営業利益の計画 (千円)	第1期	第2期	第3期	備考	
	売上 1,362	9,880	12,844		
	営業利益 446	3,088	3,363		
起業事業費及びその財源内訳 (補助金に関するもの) (単位 千円)					
区分	項目	初年度 R3 ~ R3	2年度 R4 ~ R4	計	備考
事業費	事業拠点費	13,274	0	13,274	
	人材育成費	0	0	0	
	広告宣伝費	455	0	455	
	小計	13,729	0	13,729	
	人件費	0	0	0	
	合計	13,729	0	13,729	
補助金	事業拠点費等分	1,000	0	1,000	
	人件費分	0	0	0	
	補助額計	1,000	0	1,000	

(様式3)

## 事業計画内容説明書

### 1 申請者の略歴等 (グループでの申請の場合は、全員の略歴を記載してください。)

#### (1) 申請者経歴

氏名	●● ●●	性別	○男・女	生年月日	平成4年5月10日 (30歳)
【経歴、特記事項 (経験・実績・資格等)】					
●●●大学●●●学部卒業					
2016年 英会話教師として働く傍ら、IT業務を学ぶ。					
2017年 ●●株式会社にて、オンラインストア構築。					
2018年 ●●●でウェブ構築業務に従事。					
2020年 ●●●移住。●●●に魅せられて、独学にて●●●を開始。 ●●●にて数か月間修行。					

#### (2) 出資予定者の構成、金額、割合等 (会社・組合を設立の場合に記載)

法人形式 (○○会社)	出資予定者氏名	出資額(千円)	出資割合(%)	申請者との関係	役職名
株式会社	●● ●●	3,000	100.0	本人	代表

### 2 起業の動機、事業目的、経営理念 (詳しく記入してください)

<p><b>【背景】</b> 私が住んでいた●●●は、水と緑に囲まれており、秋田県の駒ヶ岳と田沢湖、水田と森林が広がる風景に似ていてとても美しい街です。 この地方では、●●●を生産しており、全米の77%を占めています。その種類は130種類以上にも及び、680以上の施設で●●●を製造しており、その数はいまだに増え続けています。生産している●●●の特徴は、この地方で生産されている●●●をふんだんに使っていることで、●●●に定評があります。生産量の半分以上は地元で消費されている地元密着型です。 製造の規模が小さいこともあり●●●を併設しているところが多く、訪れる人は製造設備を眺め、製造者におすすめの商品の説明を受けながら●●●するというスタイルで、大量生産のものとは異なり、生産者の顔と製造過程が見えるのが特徴です。</p> <p><b>【起業の動機】</b> 私自身●●●に魅了され続けており、移住した秋田でも提供しながら全国へ発信したいと考えています。また、移住して地域の急激な人口減少や高齢化による地域経済の縮小に危機感を覚え、自身の技術と経験を活かし地域を盛り上げていきたいと思っています。さらに、●●●で有名な当市ですが、観光客を迎える拠点が駅周辺にないこともあり、新たな観光拠点として秋田県を盛り上げたいと考えています。</p> <p><b>【事業目的】</b> ●●●スタイルの●●●の製造および販売。併設する●●●で提供することと、県外にも売り込むことで地域経済の発展の一助となる事業に成長させる。</p> <p><b>【経営理念】</b> 「●●●で秋田の良さを全国へ」</p> <p><b>【経営方針】</b> ①●●●から製造まで秋田で行うMade in あきた ②地域に根ざした企業として顧客満足の追求 ③全国展開を目標とした事業の発展 値段の高いイメージのある●●●を普段使いできる価格で提供し、秋田県内にもっと広めていきたいと考えています。また、ローカルなビジネスパートナーを見つけ、地元産で製造することを目標とし、製造の全工程を秋田で行うことで地産地消を進め、地元根付かせつつ全国へ展開できる商品に成長させたいと考えています。</p>
---

### 3 提供製品・サービス

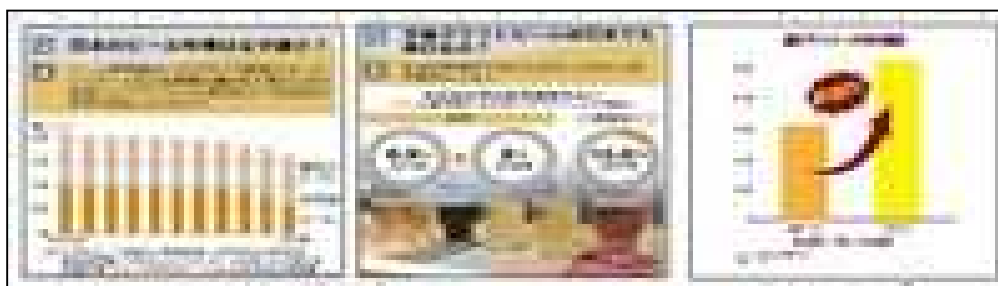
#### (1) 主な製品、サービス名

製品・サービス名	製品・サービスの特徴、価格、セールスポイント、差別化ポイント、ターゲットとする顧客層など	販売方法
<p>●●● ▲▲▲</p>	<p>●●●をふんだんに使った●●●スタイルの●●●数種類を販売予定。大手と同じ価格帯で、併設する●●●で提供するという新しいスタイルを提案。今まで試したことのない層にもアプローチ。</p> <p>【●●●】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・●●● 〇〇〇円</li> <li>・●●● 〇〇〇円</li> </ul> <p>【▲▲▲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・▲▲▲ 〇〇〇円</li> </ul>	<p>店舗販売 オンライン販売</p>

#### (2) 製品・サービスの市場性、優位性、販売・売上等の見通し

##### 【市場性】

●●●の市場は類似商品の売上が減少する中、拡大傾向にあります。大手の予測や新聞記事でもわかるように●●●の市場は着実に拡大しており、今後も成長が見込まれます。



##### 【優位性】

当市内では初の供給となります。また、日本で製造販売されている商品は●●●をベースとしたものが主流で、●●●をふんだんに使った●●●スタイルの日本で製造された商品は、秋田にはまだありません。全国的な市場は拡大傾向にありますが、地域の人口は減少が続いているため将来的には消費量の減少など不安要素も併せ持っていますが、●●●スタイルの●●●は、幅広い層に楽しんでいただける商品であり、従来のものとは違った客層の開拓が期待できます。また製造所に併設された●●●で楽しむことができ、フレンドリーで穏やかな性格の秋田犬にも会える●●●として、観光やリフレッシュの新拠点として気軽に立ち寄っていただける場所にしたいと考えています。

##### 【販売・売上等の見通し】

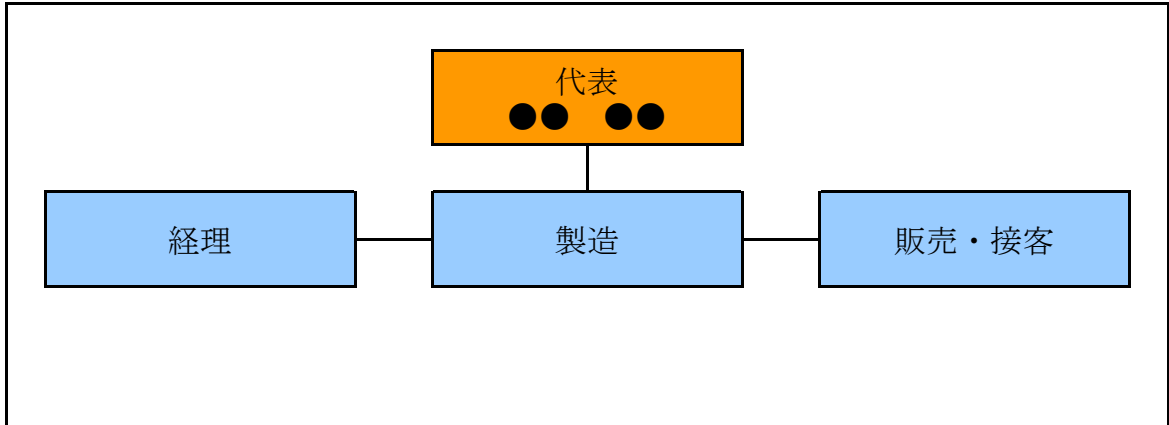
コロナ後の出張、旅行増加に伴う移動人口の増加、●●●愛好家数が今後も伸びることを前提に、駅近で且つ、車を使わずに行ける製造所併設の●●●という今までにないタイプの新たな拠点になりうると考えています。

また、年4回開催される大きなイベントの前後の客数を見込んでいます。

さらに、通常の週末には、他事業者とコラボした自主イベントを開催し、秋田犬を愛でながら、お子様も一緒に家族で訪れて楽しんでいただけるスポットになることを見込んでいます。

上記見通しを踏まえ、資料1の売上げを見込んでいます。

#### 4 事業実施の組織及び人員体制（組織図）



#### 5 事業所の場所

土地（用途、面積、取得方法、価格）	建物（用途、面積、取得方法、価格）
店舗用●●●m <sup>2</sup> を購入 ●●●万円	製造所兼事務所●●●m <sup>2</sup> を新築 ●●●万円
【立地条件等選択理由】	
JR●●駅から近く、駅からも見える場所であること。倉庫だった場所を改装し、倉庫の趣のある●●●を併設できる。また、駅周辺は新興住宅地として人口も増えている。行楽シーズンには相当数の人通りが期待できる。	

※必要に応じて地図を添付ください。

#### 6 事業内容

##### (1) 起業に必要な許認可等

許認可等の名称	申請先	取得（予定）年月日
●●●免許	●●●	2022年4月（予定）
●●●許可	●●●	2022年9月（予定）

##### (2) 事業スケジュール等

##### ① 起業（実際の操業）前後のスケジュール・行動計画（月別に記載すること）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
資金調達	■											
会社設立	■											
内装工事	■	■	■									
製造所開設準備		■	■	■	■	■						
●●●開設準備					■	■	■					
アルバイト採用					■	■	■					
各種許可						■	■					
オープン							■					

② 現在の事業段階（申請時点における起業準備の状況を具体的・個別に記入）

<ul style="list-style-type: none"> <li>金融機関に資金調達の相談中。</li> <li>2021年4月に会社設立し、免許取得に向け、申請準備中。</li> <li>2021年9月に●●●許可取得予定。</li> </ul>
--

③ 起業後の事業展開計画

期	内 容（販路拡大、顧客の確保、店舗拡大、商品アイテム追加など）
第1期 (21年10月 ～22年9月)	2022年4月オープン。初年度は年間製造量の半分を製造予定。 クラウドファンディングでプロモーション予定。 ●●●でのPR活動。●●●イベントへの参加で知名度アップを図る予定。 オンラインショップ開設準備。グッズ販売を展開予定。
第2期 (22年10月 ～23年9月)	●●●フル生産予定。 オンラインショップ開設。 新商品の追加。 正社員を1人増員し、生産・販売体制を確立。
第3期 (23年10月 ～24年9月)	●●●フル生産予定。 全国イベントへの参加。 自主イベントの開催。 正社員を1人増員し、売上げ増加を目指す。

④ 採用計画

(単位：人)

採用時期			第1期		第2期	第3期
				(うち起業時)		
採用 人数	正社員	小計	0	( 0 )	1	1
	非正規	小計	0	( 0 )	0	0
	その他	小計	1	( 1 )	0	0
採用人数 計			1	( 1 )	1	1
従業員数計 (累計)			1		2	3

※ 従業員数には代表者は含みません。人数は、増員分のみ記載すること。

## 7 財務計画

(単位：千円)

項目	第1期	第2期	第3期	備考	
	R3年 10月 ～ R3年 12月	R4年 1月 ～ R4年 12月	R5年 1月 ～ R5年 12月		
① 売上高	1,362	9,880	12,844	資料1より	
② 売上原価	409	2,964	3,853	資料2より算出	
③ 売上総利益 (①-②)	953	6,916	8,991		
④ 販売費及び一般管理費	507	3,828	5,628	資料3より	
⑤ 営業利益 (③-④)	446	3,088	3,363		
⑥ 営業外収益	-	1,000	-	資料5より	
⑦ 営業外費用	-	288	264	資料5より	
⑧ 経常利益 (⑤+⑥-⑦)	446	3,800	3,099		
⑨ 法人税・所得税等充当額	179	1,520	1,240	法人の場合：⑧の40% 個人の場合：⑧の25%を目安	
⑩ 税引後利益 (⑧-⑨)	268	2,280	1,859		
⑪ 減価償却費	256	1,026	1,026	資料4より	
⑫ (⑩+⑪)	524	3,306	2,885		
<b>【資金計画】</b>					
収入	A 政府系金融機関	10,000			
	B 県制度融資(創業支援資金等)				
	C 民間金融機関	5,000			
	D 設備導入資金				
	E その他(知人・家族)				
	計 (A+B+C+D+E)	15,000	-	-	
	自己資金	2,500			
	上記 ⑫ 再掲	524	3,306	2,885	
計 (ア)	18,024	3,306	2,885		
支出	設備資金	15,100	-	-	資料7より
	増加運転資金	-	-	-	資料8より
	借入金返済		1,524	1,524	
	計 (イ)	15,100	1,524	1,524	
当期差額 (ウ)=(ア)-(イ)	2,924	1,782	1,361		
生活費(個人事業の場合)(エ)	300	1,200	1,200		
前期繰越差額(オ)	-	2,624	3,206		
次期繰越差額(カ)=(ウ)-(エ)+(オ)	2,624	3,206	3,367		

※資料1～8の提出については任意

## 8 起業支援補助金に関する事業費内訳書

以下、起業支援補助金に関する事業内訳書です。

- (注) ・この内訳書には、起業に要する全経費ではなく、そのうち起業支援補助金の補助対象として申請する予定の事業費のみを記載すること。  
 ・ここでの年度は、4月～3月の年度です。

(1) 初年度(補助事業開始日 ～ 令和4年2月28日)

(単位：千円)

区分		総事業費	補助対象経費	補助金額	備考
事業 拠点 費	設備費	11,500	10,455		内訳は附表1 初年度
	機械器具費	2,600	2,364		内訳は附表1 初年度
	什器・備品費	500	455		内訳は附表1 初年度
	構築物等	-	-		内訳は附表1 初年度
	計 ①	14,600	13,274		
人材育成費 ②		-	-		内訳は附表2 初年度
広告宣伝費 ③		500	455		内訳は附表1 初年度
小計 ④=①+②+③		15,100	13,729	1,000	
人件費 ⑤		-	-	-	内訳は附表3 初年度
合計 ④+⑤		15,100	13,729	1,000	

※ 補助対象経費は消費税を除いて記載すること。

(2) 2年度目(令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日)

(単位：千円)

区分		総事業費	補助対象経費	補助金額	備考
事業 拠点 費	設備費		-		内訳は附表1 (2年度目)
	機械器具費		-		内訳は附表1 (2年度目)
	什器・備品費		-		内訳は附表1 (2年度目)
	構築物等		-		内訳は附表1 (2年度目)
	計 ①	-	-		
人材育成費 ②			-		内訳は附表2 (2年度目)
広告宣伝費 ③			-		内訳は附表1 (2年度目)
小計 ④=①+②+③		-	-	-	
人件費 ⑤			-	-	内訳は附表3 (2年度目)
合計 ④+⑤		-	-	-	

※ 補助対象経費は消費税を除いて記載すること。

## 資料1

## 売上高内訳表

## ■ 第1期売上予測

第1期 年間合計 1,362

## 【第1期 売上予測算出根拠】

(※算出根拠を記載してください。別紙添付可。)

(単位：千円)

商品・部門 又は顧客・販売先	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1 販売計 (内訳別紙)										383	399	580	1,362
2													0
3													0
4													0
5													0
6													0
7													0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	383	399	580	1,362

## ■ 第2期売上予測

第2期 年間合計 9,880

## 【第2期 売上予測算出根拠】

(※算出根拠を記載してください。別紙添付可。)

(単位：千円)

商品・部門 又は顧客・販売先	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1 販売計 (内訳別紙)	695	701	696	700	820	731	783	810	671	1,834	589	850	9,880
2													0
3													0
4													0
5													0
6													0
7													0
計	695	701	696	700	820	731	783	810	671	1,834	589	850	9,880

## ■ 第3期売上予測

第3期 年間合計 12,844

## 【第3期 売上予測算出根拠】

(※算出根拠を記載してください。別紙添付可。)

(単位：千円)

商品・部門 又は顧客・販売先	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
1 販売計 (内訳別紙)	659	1,465	910	915	679	1,485	700	865	679	1,567	1,831	1,089	12,844
2													0
3													0
4													0
5													0
6													0
7													0
計	659	1,465	910	915	679	1,485	700	865	679	1,567	1,831	1,089	12,844



**資料2**

**売上原価内訳表**

(1) 売上原価積算

売上原価については、aのように財務指標等を参考に売上高に原価率を掛けた原価率方式又は、bのように積上げによる積算方式のどちらかの数値を使用すること。

a 原価率方式

単位：千円

	第1期	第2期	第3期	産業分類毎の平均原価率(参考資料より)
A 売上高	1,362	9,880	12,844	●●● %
B 原価率(自社予測原価率)(%)	30	30	30	
C 売上原価 (A×B)/100	409	2,964	3,853	

b 積上方式

単位：千円

	第1期 (ヶ月分)	第2期 (12ヶ月分)	第3期 (12ヶ月分)	第1期の計算内訳
仕入原価				
製品材料費				
外注費				
減価償却費(製造部門の分)				
人件費(製造原価に織り込まれる分)				
その他経費(光熱水費等)				
計	-	-	-	

(2) 売上原価の説明

【業界平均と原価率が異なる場合は、その理由】

●●●のため

【主な商品仕入・原材料仕入先、製造外注先等】

●●●、●●●、●●●

**資料3**

**販売費及び一般管理費内訳表**

※ 売上原価に含めない、総務部門や営業部門担当者の人件費や事務費、広告宣伝費などの間接経費です。

単位：千円

項目	第1期	第2期	第3期	第1期の計算内訳(千円×ヶ月)
人件費				
役員報酬(法人の場合)				
従業員(専従者)給与・賞与		1,800	3,600	
パート、アルバイト給与	150	600	600	
福利厚生費	-	-	-	法定福利費(社会保険、労働保険)を含む。福利厚生費は13~20%程度
通信費	30	120	120	
旅費交通費	-	-	-	
地代、家賃	60	240	240	
支払利息	57	228	228	
消耗品費	30	120	120	
広告宣伝費	-	-	-	
水道光熱費	90	360	360	
租税公課	-	-	-	
減価償却費(製造原価に含まれない分)	-	-	-	
車輛費	30	120	120	
交際費	30	120	120	
その他(予備費)	30	120	120	
合計	507	3,828	5,628	



## 資料7

## 設備資金内訳表

(単位：千円)

内 容		内 訳	第 1 期	第 2 期	第 3 期	備 考
土地・建物取得に要する費用	土地購入、建物取得、権利金・敷金・保証金、不動産取得税等					
工事費	内・外装工事、設備工事、水道工事等	建物改装工事	11,000			
		看板設置工事	500			
機械、什器、備品購入	機械設備、厨房機器、自動車、事務機器、机・椅子、ソフトウェア等	加工機材	2,600			
		机・棚	500			
		ホームページ作成料	500			
合 計		15,100	-	-		

## 資料8

## 増加運転資金 計算表

(単位：千円)

		第 0 期末 (第 1 期首)	第 1 期末	第 2 期末	第 3 期末
売掛債権	売掛金、未収金、受取手形等				
棚卸資産	製品・商品の在庫				
買掛債権	買掛金、未払金、支払手形等				
	増加運転資金		-	-	-

※ 増加運転資金 = (当期末売掛債権 - 前期末売掛債権) + (当期末棚卸資産 - 前期末棚卸資産) - (当期末買掛債務 - 前期末買掛債務)

## 【参考】 ■資料4の減価償却費の計算方法

減価償却費は次の定額法又は定率法のどちらで計算してもよい。

- 定額法 減価償却費 = 取得価格 ÷ 耐用年数 × 使用月数 ÷ 12
- 定率法 減価償却費 = 未償却残高 × 償却率 × 2.5 × 使用月数 ÷ 12



1期の未償却残高 = 取得価格

2期の未償却残高 = (取得価格 - 1期の償却費)

3期の未償却残高 = (取得価格 - 1期及び2期の償却費)

それぞれの設備の耐用年数及び償却率は個別に調べてください。

## ■資料6の数値の計算方法

- 借入残高 = 期首(前期末)残高 - (借入額 ÷ 償還期間(年))
- 支払利息 = (期首(前期末)残高 + 期末残高) ÷ 2 × 利率

附表 1

費用説明書（事業拠点費、広告宣伝費）

1 設備費 2 機械器具費 3 什器・備品 4 構築物等 5 広告宣伝費の中から該当する数字を選んでください

【 初年度 】

(単位：千円)

費用項目	品名等	規格・品質・型式・仕様等	導入目的、必要性	数量	単価	金額 (消費税込み)	金額 (消費税除く)
1 設備費	建物改装工事		工場用	1	11,000	11,000	10,000
1 設備費	看板		工場用	1	500	500	455
2 機械器具費	機械等		製造用	1	2,600	2,600	2,364
3 什器・備品	机・棚		事務所用	1	500	500	455
5 広告宣伝費	ホームページ作成料		宣伝広告	1	500	500	455
-	-			-	-	-	-
-	-			-	-	-	-
-	-			-	-	-	-
-	-			-	-	-	-
-	-			-	-	-	-
-	-			-	-	-	-
-	-			-	-	-	-
-	-			-	-	-	-
計						15,100	13,729

※ この附表には、起業に要する全経費ではなく、起業支援補助金の補助対象として申請する予定の事業費のみを記載すること。

※ 年度ごと、費用項目ごとに附表を作成してください。